

日本文学専攻 博士課程前期

3つの方針	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> 日本文学・日本語学及び関連諸学について広範な学識を有し、専門分野において修士の学位を取得するに足る知識を身に付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 科学的批判精神と洞察力を持って思考、判断し、日本文学・日本語学及び関連諸学に関わる諸問題を探究することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本文学・日本語学及び関連諸学に深い関心を抱き、その研究に強い意欲を持ち、推進することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本文学・日本語学及び関連諸学について、高度に専門的な文献・資料を読み解き、調査研究能力を身に付け、的確な表現力・コミュニケーション力をもって社会に貢献することができる。 	
教育課程編成方針 (カリキュラム・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> 個別指導により、研究計画に基づいた指導のもとで、本学学位規程に定められた基準の修士論文を課す。 日本文学・日本語学及び関連諸学に関わるより高度な専門知識の修得、理解のための講義科目を置く。 各分野における最先端研究成果を修得するための講義科目を置く。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題の発見から解決のための方法を判断し、思考を練り上げるための演習科目を置く。 	<ul style="list-style-type: none"> 各専攻の諸分野について、関心と意欲を持つことのできる専門の科目を置く。 アクティブ・ラーニングに関する科目を置く。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門的知識や技能によって、自発的に見出して解決した課題を発表しうる能力を養う専門の科目を置く。 	
入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> 日本文学・日本語学及び関連諸学に関わる高度な専門知識を持って社会に貢献したいという意欲を持った人。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本文学・日本語学及び関連諸学についての思考や判断を通して、自己の仕事と生き方について考えを深めたい人。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本文学・日本語学及び関連諸学のいずれかの分野での研究を希望する人。 	<ul style="list-style-type: none"> 本専攻で学んだ技能を生かして、修了後に様々な分野で社会貢献をしたいと思っている人。 	

日本文学専攻 博士課程後期

3つの方針	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> 日本文学・日本語学及び関連諸学について広範な学識を有し、専門分野において博士の学位を取得するに足る深い学術的知見を獲得することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 博士課程前期で培った調査力・分析力・考察力を更に発展させ、独創的で自立した研究活動ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 博士課程前期で研究したことへの深い関心を維持し、そのさらなる研究に強い意欲を持ち、推進することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本文学・日本語学及び関連諸学について、高度に専門的な文献・資料を読み解き、的確な表現力・コミュニケーション力をもって学術的な研究成果を発表し、学問の発展に寄与することができる。 	
教育課程編成方針 (カリキュラム・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> 各専門分野の研究の集大成として、研究計画に基づいた指導のもとで、本学学位規程に定められた基準の博士論文を課す。 各専門分野の高度なレベルで構成される専門知識の修得、理解のための講義科目を置く。 各分野における最先端の研究成果に対する知見を身に付けるための講義科目を置く。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題の発見から解決のための方法を判断し、その思考を実践することができる演習科目を置く。 	<ul style="list-style-type: none"> 各専攻の諸分野について専門的な関心と意欲を高めるための専門の科目を置く。 アクティブ・ラーニングに関する科目を置く。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門的知識・技能を身に付け、自発的に見出し解決した課題を発表する能力を実践する専門の科目を置く。 	
入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> 博士課程前期で修得した専門知識を生かして、学問の発展へ貢献しうる人。 	<ul style="list-style-type: none"> 各専攻分野で修得した思考を深めることで、研究者としての仕事と生き方についての知見を持ちたい人。 学問的思考を深めることで、学位取得を目指す人。 	<ul style="list-style-type: none"> 博士課程前期で培った専門知識と研究方法により、更に高度で独創的な研究の継続を希望する人。 	<ul style="list-style-type: none"> 本専攻で学んだ技能を生かして、研究職、教育職を目指し、社会貢献をしたいと思っている人。 	

英文学専攻 博士課程前期

3つの方針	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	その他
<p>学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)</p>	<p>・イギリス文学、イギリス文化研究、アメリカ文学、アメリカ研究、言語・英語研究並びに関連分野にわたって、広範な知識を身に付けている。</p>	<p>・論理的な思考力を持ち、英米を中心とした英語圏の文学、歴史、言語、文化に関わる諸問題を深く追究できる。 ・研究対象を分析するための客観的な判断力と健全な批判精神を備えている。</p>	<p>・英米を中心とした英語圏の文学、歴史、言語、文化の諸問題について高い関心を有している。 ・高度な英語能力と深い専門知識を生かして、教育現場等で、広く社会に貢献しようとする積極的姿勢を有している。</p>	<p>・英語で専門的な資料を読み解き、情報収集を行う能力を持っている。 ・英語論文によって個人の考えを表現し、広く発信する能力を有している。 ・自分の考えを他者に的確に伝えるための論理的思考力と表現力を身に付けている。</p>	
<p>教育課程編成方針 (カリキュラム・ポリシー)</p>	<p>・英米を中心とした英語圏の文学、歴史、言語、文化に関わる専門知識を身に付けるための講義科目を置く。</p>	<p>・専門分野の論文を読み解き、自ら課題を発見する能力を養うための演習科目を置く。 ・本学学位規程に定められた基準の修士論文を完成させるための「特別研究」を置く。</p>	<p>・学内の専門誌(Veritasや大学院紀要等)への論文の投稿や、大学院英文学専攻課程協議会の口頭発表での、積極的な研究成果の発表を促す。 ・すべての科目においてアクティブ・ラーニングを旨とする。</p>	<p>・英文学専攻課程協議会の研究発表会や修士論文中間発表会において、自分の研究を口頭で明快に伝える訓練をする。 ・修士論文を英語で執筆するため、英語による研究論文執筆の方法を学修する「英語論文作成法・上級」を置く。 ・英語教育の従事者として活躍できる人材を養成するための関連科目を置く。</p>	
<p>入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)</p>	<p>・イギリス文学、イギリス文化研究、アメリカ文学、アメリカ研究、言語・英語研究の少なくとも1つの分野において、一定の専門的知識を有する人。</p>	<p>・複眼的な視座と客観的な判断力を持つ人。</p>	<p>・英米を中心とした英語圏の文学、歴史、言語、文化についての高度な専門知識を身に付けることによって、社会の発展に貢献したいと希望する人。</p>	<p>・専門分野の英語による学術書や論文を的確に読み解くための一定の英語読解能力を有する人。 ・知識の収集能力を持ち、それを体系的にまとめあげる力を備える人。</p>	

英文学専攻 博士課程後期

3つの方針	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	その他
<p>学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)</p>	<p>・イギリス文学、イギリス文化研究、アメリカ文学、アメリカ研究、言語・英語研究並びに関連分野における高度で専門的な知識を身に付けている。</p>	<p>・イギリス文学、イギリス文化研究、アメリカ文学、アメリカ研究、言語・英語研究の各専門分野において、自らの思考力・分析力によって独創的な発想を提示することができる。</p>	<p>・英米を中心とした英語圏の文学、歴史、言語、文化の諸問題について、自ら問題提起を行い、それを追究する意欲を持っている。 ・高度な英語能力と深い専門知識を、専門の研究分野の発展に還元しようとする積極的姿勢を有している。</p>	<p>・研究によって到達した独自の考えを、学位論文にまとめる論理的思考力、表現力、英語力を有している。</p>	
<p>教育課程編成方針 (カリキュラム・ポリシー)</p>	<p>・英語圏を中心とした人文科学に関わる高度な専門知識を身に付けるための講義科目を置く。</p>	<p>・専門分野の高度な英語論文を読み解き、自ら課題を発見するための能力を養うための演習科目を置く。 ・学位論文執筆に必要とされる、的確な情報収集と課題解決の方法を獲得するための個人指導を行う「特殊研究」を置く。</p>	<p>・公的学会の専門誌や本学の大学院紀要等への論文投稿を促す。 ・公的学会、大学院英文学専攻課程協議会での口頭発表等、積極的な研究成果の発表を促す。 ・すべての科目においてアクティブ・ラーニングを旨とする。</p>	<p>・公的学会や大学院英文学専攻課程協議会の研究発表会において、自分の研究成果を発表する訓練をする。 ・学位論文を執筆するための個別指導を行う「特別研究(後期)」を置く。</p>	
<p>入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)</p>	<p>・イギリス文学、イギリス文化研究、アメリカ文学、アメリカ研究、言語・英語研究の少なくとも1つの分野において、研究を行っていくために必要な専門的知識を有する人。</p>	<p>・英米を中心とした英語圏の文学、歴史、言語、文化について、深い洞察力と思考力を身に付けている人。</p>	<p>・英米を中心とした英語圏の文学、歴史、言語、文化についての専門知識を深めるとともに、新たな問題提起や発見を成し遂げることによって、当該の研究分野の発展に寄与することを希望する人。</p>	<p>・専門分野の英語による高度な学術書や論文を的確に読み解くために十分な英語読解能力を有する人。 ・各専門分野において成し遂げた新たな発見を、英語で的確に発表できる人。 ・専門的な論文が英語で執筆できる人。 ・自らの力で問題提起し、課題を追究していく能力を有する人。</p>	

史学専攻 博士課程前期

3つの方針	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> 日本史・東洋史・西洋史及び関連諸分野に関して広範な知識を有し、専門分野において修士の学位を取得するに足る知識を身に付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> グローバルな視点と科学的批判精神及び洞察力を持って、日本史・東洋史・西洋史及び関連諸分野を、客観的、論理的・体系的に探求・考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本史・東洋史・西洋史及び関連諸分野に深い関心を抱き、自身の研究に強い意欲を持ち、粘り強く研究を継続することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史に関わる多様な史料について、情報収集能力、読解力、分析力を身に付けている。 的確で豊かな表現力、現代世界の諸事象を歴史的に理解する力、コミュニケーション能力を持ち、自身の考えを発信し、広く社会に貢献することができる。 	
教育課程編成方針 (カリキュラム・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> 日本史・東洋史・西洋史及び関連諸分野に関わる専門知識の修得、理解のための講義科目を置く。 	<ul style="list-style-type: none"> 自ら課題を発見し、解決のための方法を導きだし、思考力を培うための演習科目を置く。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本史・東洋史・西洋史及び関連諸分野について関心を持ち、研究課題探求への意欲を高めることのできる専門の科目を置く。 主体的学習(アクティブ・ラーニング)を促す演習科目を置く。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門的知識や技能により、自身の研究課題、及びその成果を発表できる表現能力を養うための専門科目を置く。 個別指導により、研究計画に基づいた指導のもとで、本学学位規程に定められた修士論文を課す。 	
入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> 日本史・東洋史・西洋史及び関連諸分野に関する専門知識や理解を更に深め、社会に貢献したいという意欲を持つ人。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本史・東洋史・西洋史及び関連諸分野についての思考や判断を通して、人間や歴史、社会に関する思索を深め、自己の生き方と社会のあり方、また未来について考えたい人。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本史・東洋史・西洋史及び関連諸分野において、自身の課題を定め、研究し、社会に貢献したいと希望する人。 	<ul style="list-style-type: none"> 本専攻で学んだ専門的知識・技能を生かし、修了後に様々な分野で社会に貢献したいと思っている人。 	

史学専攻 博士課程後期

3つの方針	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	その他
<p>学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)</p>	<p>・日本史・東洋史・西洋史及び関連諸分野について、深くかつ広範な学識を有し、博士の学位を取得するに足る学術的知見を獲得することができる。</p>	<p>・博士課程前期で培った調査力・分析力・考察力を更に発展させ、グローバルな視野を持ち、独創的で自立した研究活動ができる。</p>	<p>・博士課程前期で研究したことへの深い関心に基づき、研究活動を継続、維持しようとする強い意欲を持ち、研究を更に深化させることができる。</p>	<p>・日本史・東洋史・西洋史及び関連諸分野について、専門的な史資料を解読し、的確な表現力・コミュニケーション力によって研究成果を発表し、学問の発展に寄与することができる。</p>	
<p>教育課程編成方針 (カリキュラム・ポリシー)</p>	<p>・日本史・東洋史・西洋史及び関連諸分野について高度な専門知識の修得、理解のための科目を置く。</p>	<p>・自ら課題を発見し、解決のための方法を導きだし、思考力を培い、まとめあげていくための科目を置く。</p>	<p>・日本史・東洋史・西洋史及び関連諸分野について、専門的な関心と意欲を高めるための専門の科目を置く。 ・主体的学習(アクティブ・ラーニング)を促す演習科目を置く。 ・公的学会における口頭発表、学術雑誌への投稿等、積極的な研究発表を促す。</p>	<p>・専門的知識・技能を身に付け、自身の研究課題を発表するための表現能力・コミュニケーション能力を高めるための科目を置く。 ・自身の研究の集大成として、研究計画に基づいた個別指導のもと、本学学位規程に定められた基準の博士論文を課す。</p>	
<p>入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)</p>	<p>・博士課程前期で修得した専門知識を生かして、学問の発展へ貢献しうる人。</p>	<p>・日本史・東洋史・西洋史及び関連諸分野で修得した思考を深めることで、研究者としての仕事や自身の生き方、未来の社会等について、深い知見を持ちたい人。 ・学問的思考を深めることで、学位取得を目指す人。</p>	<p>・博士課程前期で培った専門知識と研究方法により、更に高度で独創的な研究の継続を希望する人。</p>	<p>・本専攻で学んだ技能を生かして、研究職や教育職を目指し、社会貢献をしたいと思っている人。</p>	